



どじょっこ



強く 正しく 豊かしく ~輝く未来に向け 自らをよりよく高める子どもの育成~

たくさんの声援ありがとうございました「運動会」



晴天に恵まれ、子どもたちは、競技や演技、そして応援合戦に活躍することができました。

今年度の運動会のテーマは、「笑顔 全力 勝利 力の限り走り抜け！」でした。最後まで全力を出し切って駆け抜けることができるよう、子どもたち一人一人に、温かな励ましの言葉や大きな拍手で応援してくださった地域や保護者の皆様、ありがとうございました。

また、運動会に先駆けて行った「早朝クリーンアップ」や運動会の係を担当された保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。

「平成27年度の学校評価」をお知らせいたします。皆様からのご意見を生かしながら学校運営を進めていきたいと考えております。今年度もよろしくお願いいたします。

分野	評価項目	取組状況と成果・課題	評価	改善策	学校関係者の意見
教育課程・学習指導	確かな学力を育む教育課程の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 朝の時間に「スキルアップタイム」を設定し、子どもに基礎的・基本的な学習内容を定着させる取組をしてきた。 各種学習状況調査等に対応して「パワーアップ月間」を設け、学力の向上を図ってきた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 「スキルアップタイム」、「パワーアップ月間」の内容・取組方法を工夫し、学習内容の一層の定着を図る。 学習内容の系統性を踏まえた指導を計画的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業を工夫して取り組んでいる。今後も、一人一人の個性や能力に応じた学習を進めるとともに学習内容を確実に身に付けるように補充的な学習を充実させてほしい。
	子どもが「分かった・できた」と実感できる主体的な学びにつながる授業づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 児童アンケートでは、85%が「先生は分かりやすく教えてくれる」と回答している。 学習へのレディネスを整える取組を通して、学習の約束の定着、学習の流れの明確化、ノート指導の充実が図られ、主体的に学習に取り組む児童の姿が見られる。 学習のめあてに向けて取り組む意識は高まったが、共有場面での学び合いの向上には至っていない。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 「めあて」と「振り返り」のある授業を実践し、学習意欲の向上を図る。 多様な意見や考えを出すことができる問題の設定を工夫する。 自力解決の場の保障と練り上げの充実を図り、発表や説明の力を伸ばす。 	<ul style="list-style-type: none"> 学力は必要であるが、それ以外にもスポーツや心の交流など、人として大切なものがある。「知・徳・体」を考慮して、子どもたちを育ててほしい。
	各教科指導等における基礎・基本の定着	<ul style="list-style-type: none"> 基礎基本の定着を目指して、個に応じた指導・支援に努めてきた。徐々にではあるが、向上も認められた。 児童アンケートでは、92%が「家庭学習をがんばっている」と回答している。習慣化が図られ、学習内容の定着につながっている。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの実態を的確に把握し、個に応じた指導の充実を図る。 自力解決に向けて見通しをもって取り組めるように指導や支 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者と連携した家庭学習への取組はよい方向に向かっている。本校の子どもたちは、まだまだ伸びる力が

		<ul style="list-style-type: none"> 授業直後は理解しているものの、時間が経つと学習内容の理解が低下している。定着を図るための指導の工夫が必要である。 		<ul style="list-style-type: none"> 援の工夫を図る。 学習内容の定着に向け、家庭学習の量と質の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> あるので、取組を充実させてほしい。
生徒指導	基本的な生活習慣の定着と挨拶の励行	<ul style="list-style-type: none"> アンケートでは、保護者は92%、児童は85%が「あいさつをよくしている」と回答している。児童委員会や各学年によるあいさつ運動の取組等により、自発的に挨拶する子どもが増えている。 場に応じた言葉遣いや時間を守っての行動等、基本的な生活習慣がきちんと身に付いていない子どもが見られる。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの実態を踏まえ、生徒指導部の指導の重点や道徳の重点を見直し、子どもの主体的な規範意識の向上を目指す。 あいさつ運動や言葉遣いは、生徒指導部と児童委員会の連携を図りながら進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちのあいさつは地域でもよくなってきている。あいさつのよい子どもはよい顔をしている。 子どもは大人の姿を見て育つ。元気なあいさつを広げるためにも、地域住民からも積極的なあいさつを心がけたい。 基本的な生活習慣は、家庭での躰に関わることも多い。家庭と連携し、その大切さを子どもに納得させて取り組んでいきたい。
	児童理解に基づいた子どものよさを伸ばす指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> アンケートでは、保護者は84%、児童は89%が「児童理解に努めている」と回答している。 日常のふれあいを重視すると共に、個人面談やアンケート調査などにより「いじめ」の未然防止や早期発見に努め、連携して対応してきた。 子どもを語る会において情報の共有化を図り、子どもの立場に立った指導に努めた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 日常に潜む「いじめ」の芽を、子どもに理解できるように示しながら、解決する力を育む指導に努める。 情報の共有を日常化し、チームによる子どもの心に寄り添った指導・支援に努める。 	
家庭・地域との連携	開かれた学校づくりのための、家庭や地域との情報交換	<ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケートでは、99%が「教育方針や子どもの様子が伝わっている」と回答している。 学校報、学年通信、保健だより等による情報発信を計画的に行った。 みんなの登校日や土曜日開催の学校行事等で、地域や家庭との連携を深めることができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケートや教育を語る会における保護者・地域からの意見を次年度の学校経営に生かす。 今後も、家庭や地域との双方向の情報交換に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 声かけなどの不審者に関わる事案が多くなっている。今後も、学校と地域が連携した安全指導が必要である。 よい環境の地域では、犯罪が少ない。子どもたちの安全・安心につながるよう学校、PTA、地域が連携して、よりよい環境作りに努めていきたい。
	家庭や地域との連携による安心・安全の確保	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故防止に向けて、保護者や地域交通安全協会と連携して交通安全教室や街頭指導を行ってきた。 地域や幼稚園と合同して防災訓練を実施し、安全への意識の高揚を図った。また、雪国防災訓練では、保護者への引き渡しを想定した緊急メールによる訓練も行った。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 連携を維持しつつ、子どもの心に油断を生まないように、工夫を加えながら、安全・安心のための取組を進めていく。 各教科や学級活動における防災教育の充実を図る。 	
特色ある教育活動	異年齢のかかわりを大切に活動の充実 ・ふれあい活動 ・全校合唱 ・運動会 ・秋遠足 等	<ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケートでは、98%が「交流活動が、社会性の成長につながっている」と回答している。 様々なふれあい活動が、互いを認め、相手を思いやることができる関係づくりにつながってきている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ふれあい活動で育んでいるよさを、日常の生活や学習に生かし、個々の社会性の向上につなげていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 異年齢のかかわりを大切に活動は、有意義である。また、地域を生かした活動にも努めている。さらに、人との関わりを大事にした活動や地域を生かした活動の工夫を図り、地域の宝である子どもたちを育ててほしい。
	地域に学び、地域とのつながりを深める学習や行事の充実	<ul style="list-style-type: none"> 「どじょっこふなっこ」の歌を楽しむ集い、小泉渦公園での秋遠足、稲作体験、さつまいも栽培、町探検等の地域を生かした学習により、郷土を愛する豊かな心を醸成することにつながった。 地域のイベントや各種施設でのヤートセの演舞は、学校と地域との絆を深めることに貢献している。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 各種の学習や行事を支えてくれる方々への謝意や、郷土を大切に思う心を育成することを重視すると共に、子どもが、いきいきと活動できるように今後も改善を図る。 	